

連続講座「仏教と現代」

第三回講演会

- ビルマの声が聞こえていますか -

「ビルマ民主化運動の今」



① 「ビルマは今」

講師 ココラットさんSCDB(ビルマ民主化支援会)代表

② 「タイ・メラウーにあるビルマ難民キャンプの学校支援報告ビデオ」

主催
協賛

ビルマの僧侶に連帯する仏教徒の会 (連絡先 08052333429)

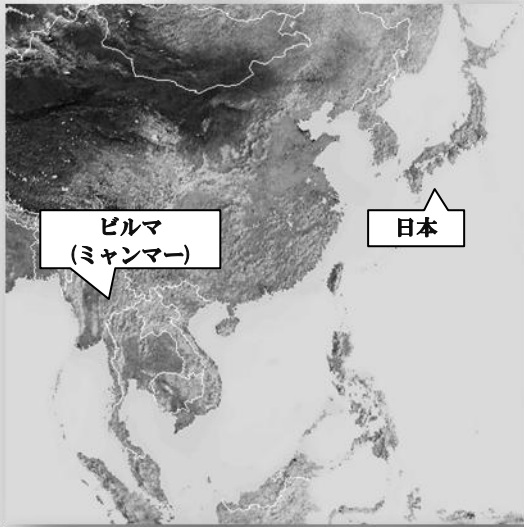
海と風と光の会・念仏者九条の会・広島部落解放研究所宗教部会・甘露の会・海風学舎
備後. 靖国問題を考える念仏者の会・真宗遺族会広島地方支部・非暴力仏教徒の会

日時 9月5日(土) 17:30 - 19:30

場所 原爆ドーム東向い 西向寺本堂2F (広島市中区大手町 1-6-18)

協力券 1000円(高校生以下無料)

-ビルマの声がきこえていますか- ビルマ民主化運動の今



今、ビルマで何がおこっているのか。

2007年、日本人ジャーナリスト長井健司氏が、ビルマ(ミャンマー)での市民や僧侶らによる反政府デモ取材中に銃撃され、死亡したことは記憶にあたりし。また、ノーベル平和賞受賞者で非暴力・民主化運動のリーダー、アウンサン・スーチーさんも、健康状態が心配されるなか、長年軟禁状態におかれ、かつ非合法な裁判にかけられ、有罪判決をうけた。国内に政治犯として捕らえられている人々は、現在でも2,400名以上。また、五十万人以上が、ビルマの国内難民となり、また三十万人以上もの人々が、国境を超え、国外難民となっている。ビルマ軍事政権は、これから一体、どこに向かおうとしているのか。

日本でビルマの民主化を訴える 「本願寺新報 2007年 11月 10日」

ココラットさん
「今、ビルマの軍隊はお坊さんを殺し、国民を殺し、拷問しお寺で暴力をふるっている。ヒトラーよりひどい。ビルマ人の一人として絶対に許すことはできない」



ビルマ民主化運動の活動家。現在、政治難民として日本に暮らし、講演活動などで祖国の自由のために精力的に活動を展開。10月19日には真宗遺族会が京都市で行ったミャンマー軍政への抗議デモに参加、日本語で力強く協力を訴えた。

「今、最も大事なことは、イラクのように外国の軍隊が入るのではなく、アウン・サン・スーチーさんと軍事政権が平和的に話し合い、新しい国をつくること。そのために日本のみなさんの力をかしてください。そして日本政府を動かし、軍事政権に強い圧力をかけてください」。切々と訴える「ビルマの生の声」は、聞く人々に強い衝撃を与えた。37歳。



難民キャンプの、竹と木の葉でできた教室。きらきらした瞳が、いっせいにこっちをみつめています。大人たちの教育への必死の熱い思いに支えられた、子供たちの輝く希望です。

難民キャンプで生まれ育つ子どもたち。キャンプから出ることは許されない。この子供たちが祖国ビルマに帰れる日はくるのだろうか。



日本から持っていった六台のパソコンのためにつくられた「未来コンピュータセンター」。難民キャンプの限られた電力供給のなかで、子供たちの唯一のメディア教育の場として活躍しています。



ココラット氏

1988年からビルマの民主化運動に加わる。元全ビルマ高校学生連盟の書記長。1990年の総選挙の日、反政府活動を理由に逮捕された。釈放後も監視下に置かれたため、1991年タイ経由で日本へ逃れ、ビルマの民主化運動を続ける。2001年に政治難民に認定。現在、SCDB(ビルマ民主化支援会)代表として各地で講演や民主化運動を続けている。

ビルマのなまの声をきき、ビルマ難民キャンプからの映像を見ながら、私たちが生きる、このアジアと民主主義、子どもたちの教育の大切さ、私たちができることなど、共に考えていきたいと思えます。お問い合わせのうえ、ご参加くださいませ。

講演会

ビルマ民主化運動の今

日時 9月5日(土)
17:30 - 19:30
場所 原爆ドーム東向い
西向寺本堂2F
協力券 1000円(高校生以下無料)